

2022年度全国小学生バレーボール指導者二次講習会開催要項
 (公益財団法人日本スポーツ協会コーチ1専門科目及び
 日本バレーボール協会認定準指導員資格取得講習会)

- 1 目的 地域におけるスポーツ（バレーボール）の普及・発展に寄与する指導者の育成を図る。
- 2 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
- 3 主管 公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会
 日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
 開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
- 4 後援 開催県・市区町村教育委員会、開催県・市区町村体育協会、報道機関
- 5 開催期間 2022年5月～2023年2月末日
- 6 参加資格 日本小学生バレーボール連盟認定初級指導者（新・旧一次講習会修了者）
- 7 講習内容

◆ 1日目（13：30～17：40）

1 日 目	レポート	受付で提出	「体力面から子どもを理解する」のテーマについて、テキスト参照の上提出
	講義	13：30～	救急法実習
		15：15～	競技規則と審判法
試験	16：45～	筆記テスト	

◆ 2日目（9：00～15：00）

2 日 目	実技	9：00～	指導実習（基礎1）
	試験	11：00～	実技テスト
	実技	13：00～	ビーチバレーボールの指導法と競技規則

※一日目には筆記試験、二日目には実技試験を行う。

- 8 講師 公益財団法人日本バレーボール協会公認講師
 公益財団法人日本バレーボール協会役員
 公益財団法人日本体育協会バレーボールバレーボールコーチ2・3・4
 日本小学生バレーボール連盟役員
- 9 参加料 受講料5000円を徴収する。
- 10 参加申込み 開催地要項に従って申込みを行う。但し、試験の都合上先着100名程度とする
 ※講習会運営上、受講者数を最低30名程度とする。（要相談）

11 その他

- ①日本小学生バレーボール連盟認定初級指導者(一次講習会修了者・スタートコーチ)であることを証明するため、必ず指導者認定証を持参すること。
 - ②本講習会の指定科目を履修し、所定の試験を合格した者は公益財団法人日本スポーツ協会コーチ1(バレーボール) 専門科目修了者となり、「日本バレーボール協会準指導員」として認定し、JVA準指導員認定証を発行する。(有効期限は4年間) 尚、公益財団法人日本スポーツ協会認定コーチ1(バレーボール) 資格取得を希望する者は、別途同協会共通科目(45時間)を取得の上、日本スポーツ協会ホームページにて、申請手続きを行うこと。(本専門科目講習の有効期限は4年間とする)
 - ③開催地は計画書及び予算書を提出することで、運営費を補助する。
 - ④講習受講にあたり、筆記用具、運動できる服装(2日目)、体育館シューズ、ルールブック、顔写真(縦2.7cm、横2.2cm以下)持参を周知すること。
 - ⑤レポート提出にあたっては、日本バレーボール協会監修「コーチングバレーボール(基礎編) 第3章「子どもたちを理解する」を読み、「3-1体力面から子どもを理解する」について、考えをまとめて、初日受付時に提出すること。(別紙レポート用紙にて2,000字以上)
- ※同テキストは、アマゾン等の通販や書店などで購入できます。
- ⑥指導者資格について
 - 1) 全日本バレーボール小学生大会のブロック・地区及び都道府県最終予選会においては、過去に日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会(一次・二次・三次)を受講した者・公益財団法人日本スポーツ協会資格を持った者が最低一人はベンチに入っていないなければならない。
 - 2) 全日本バレーボール小学生大会の全国大会においては、公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのコーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4のいずれかの資格取得者がベンチ入りしなければならない。

12 開催申請

- 開催地は事前に開催計画書及び予算書を日小連事務局に提出する。
- 開催地は、事業担当者より配布及び周知された「運営マニュアル」をもとに準備・運営を進める。
- 開催地は講習会終了後、すみやかに所定の提出物とともに報告書を提出する。
提出先は「運営マニュアル」に記載しています。
- 事業担当者
公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会・指導普及委員会
及び日本小学生バレーボール連盟担当者
[提出先] 日本小学生バレーボール連盟事務局 office@jeva-web.com